

という和名を提案したい。

日本の分布は本州，九州ではあるが，灯火や捕虫紙トラップから得られており，かなり広く分布しているものと思っている。

確認標本：1 ex., 熊本県玉名郡三岳, 16. VIII. 1986, 城戸克弥採集；1 ex., 大分県速見郡日出町佐尾(灯火), 7. VII. 2008, 岡本 潤採集；1 ex., 兵庫県豊岡市出石町, 22. VII-21. VIII. 2009 (捕虫紙), 山下雅司採集；1 ex., 大阪府大阪市東成区, 7. VII-8. IX. 2011 (捕虫紙), 山下雅司採集。

最後になったが，標本をいただいた岡本 潤氏，城戸克弥氏，確認していただいた幸形 聡氏，お世話になった Ottó Merkl 博士，益本仁雄博士に厚く御礼申し上げる。

引用文献

今坂正一, 2001. 島原半島の甲虫相 3. こがねむし, (52): 56-73.

Leschen, R. A. B., Beutel, R. G. & J. F. Lawrence (edit.), 2010. Handbook of Zoology, Coleoptera Volume 2: Morphology and Systematics (Elateroidea, Bostrichiformia, Cucujiformia partim). 786 pp. Walter de Gruyter, Berlin.

Löbl, I. et al., 2008. Diaperinae. In Löbl, I. & A. Smetana (eds.), Catalogue of Palaearctic Coleoptera, 5, pp. 303-319. Apollo Books, Stenstrup.

(平野幸彦 250-0865 小田原市蓮正寺585-29)
(三宅 武 879-5511 由布市挾間町古野1046-17)

【短報】ガムシの極小個体の記録

ガムシ *Hydrophilus acuminatus* Motschulsky, 1854 は，主にため池や水田などの止水域を好んで生息しているガムシ科の水生甲虫である。佐藤(1985)によると，本種の体長は 33-40 mm とされており，同属のコガタガムシ 23-28 mm とは，後胸腹板突起の長さで体長の違いによって区別することができる(林, 2009)。筆者は，本種の極小個体を採集したので，ここに報告する。

2♂, 岡山県真庭市蒜山吉田, 2. X. 2011, 筆者採集・保管。(27 mm: 図 1, 30 mm)

本種は，稲刈り後の水田に残った水たまりから得られた。最初はコガタガムシだと思ったが，後胸腹板突起の長さが短い(図 2)ことから，本種であると同定することができた。あまりにも小さいため，サイズを計測してみると，小さい方の個体は 27 mm 後半であり，大型のコガタガムシに近いサイズであった。採集地の近辺では，ため池な



図1-2. ガムシの極小個体。1, 全形; 2, 後胸腹板突起。

どの止水域がほとんど残っておらず，水田に水が無くなってからの生息地が非常に少ない。このため，この地域の個体群はとても貧弱な生息環境の中，細々と生き延びているのであろう。本種を含む，止水性水生昆虫の生息環境の悪化を強く感じた。

末筆ではあるが，原稿をご校閲いただいた愛媛大学ミュージアムの吉富博之博士に厚くお礼を申し上げます。

引用文献

林 成多, 2009. 島根県の水生ガムシ科. ホシザキグリーン財団研究報告, (12): 87-121.

佐藤正孝, 1985. ガムシ科 Hydrophilidae. 上野俊一・黒澤良彦・佐藤正孝(編), 原色日本甲虫図鑑 II, pp. 209-216, pl. 38-39. 保育社.

(渡部晃平 717-0513 真庭市蒜山下和1077
真庭市津黒いきものふれあいの里)

【短報】愛知県から確認されたテツイロヒメカミキリ

テツイロヒメカミキリ *Ceresium sinicum* White, 1855 は我が国では，本州(関東以西)，九州，五島列島(中通島)，甌島列島(下甌島)から知られている。しかし分布は局地的で，京浜，阪神，北九州地域などの都市部とその周辺に偏っていることから，外国からの移入種の可能性が高いことが指摘されている(新里, 2007)。本州では，京浜地域と阪神地域における分布は良く知られているが，その中間の中京圏からはこれまでに知られていなかった。筆者らは，愛知県日進市内において，次のように本種を確認したので報告する。

12 exs., 愛知県日進市野方町神明社, 18. III. 2010 (加害木採集), 23. VI. 2010 (羽化脱出), 小西宏明採集(小西宏明, 長谷川道明保管); 1 ex., 同地, 22. VI. 2011, 小西宏明採集・保管。

前者は，神社脇の粗朶置き場にあったアカメガシワの枯枝(直径 2 cm, 長さ約 1.5 m)のうち加害の目立つ部分約 50 cm を持ち帰り，ケースに保